



国際ロータリー第2790地区 千葉南ロータリークラブ会報

THE ROTARY CLUB OF CHIBA SOUTH



■創立■ 1964年3月2日 ■例会日■ 毎・金曜日12時30分 ■例会場■ オークラ千葉ホテル
 ■会長■ 杉本 峰康 ■幹事■ 酒井 秀大 ■会報委員長■ 石井 慎一
 ■事務局■ 〒260-0027 千葉市中央区新田町12-1 トーシン千葉ビル7階 (☎043-245-3204)

2019-20年度

第2698回

2019年11月22日(金)点鐘12:30 <晴れ>

- ◆ロータリーソング『それでこそロータリー』
- ◆四つのテスト ~言行はこれに照らしてから~
 1. 真実か どうか
 2. みんなに公平か
 3. 好意と友情を深めるか
 4. みんなのためになるか どうか

◆お客様紹介

◇本日の卓話者 米山奨学生 ノミンさん
 ◇ひかり学園 園長 武藤 直樹様

◆会長挨拶及び報告 杉本 峰康会長

先日、千葉西ロータリークラブの会員増強オープン例会に出席し勉強して参りました。10名ほどのゲストが参加されていましたが、夜例会でお酒も入りとてもよい雰囲気でした。最後にゲストの方々より一言ずつ感想を述べてもらったのですが、そうすることで自ら参加している意識が強く感じられ、良いアイデアだと思いました。我々の今回のオープン例会は昼例会ですが、理事の方々の承認をいただきましたので終了時間を15分間延長し、ゲストの方々から感想を述べていただく時間を作ろうと思いますのでご了承のほどお願いいたします。ぜひこの機会を有効にしたいので一人でも多くのゲストをお誘いください。

親睦旅行は、水野委員長はじめ親睦委員の皆様のおかげでとても楽しく有意義な旅行となりました。中でも、豪華な近鉄特急や伊勢神宮での特別参拝は、とても素晴らしい経験でした。神妙に参拝した後、お神楽でのご祈禱では最前列ど真ん中に案内され、そこでの40分の正座はめまいがするほどつらいものでした。

◆年次総会

出席 27名 賛成 27名 にて可決

◆地区より委嘱状伝達

地区大会決議委員会委員 金親博榮会員

◆委員会報告

親睦活動委員会 水野浩利委員長

親睦旅行の際の寸志のお礼

会長よりCSRゴルフ会の会長特別賞を稲葉会員に贈呈
 会員増強特別委員会 向後保雄委員長

12月13日の会員増強オープン例会の再度のご案内です。ロータリーを知ってもらう会でもあるので気軽に参加してもらえよう、一会員お一人ずつのお誘いをお願いいたします。

ひかり学園 園長・武藤直樹様

ご購入いただきましたお米と野菜を本日お渡しいたします。ありがとうございました。

◆幹事報告 酒井 秀大幹事

◆台風15号災害義援金募金 43,707円
 ニコニコより、 10,000円を拠出
 合計 53,507円を地区へ送金しました。

◆千葉緑RC忘年家族例会ご案内
 12月15日(日)点鐘18:00 オークラ千葉ホテルにて

◆ニコニコボックス報告

〈杉本 峰康会長、酒井 秀大幹事〉

令和を記念して企画された伊勢志摩への親睦旅行は、お天気も良く素晴らしいものでした。まずは、観光特急「しまかぜ」に乗車。ゆったりとした本革のシートに身を包まれながら伊勢志摩へ到着。海女小屋で海鮮料理を堪能。そして、なかなか入ることができない伊勢神宮内宮を参拝することができました。日にちがもう少しずれていると、もしかして大嘗祭を終えられた陛下にお会いできたかも知れません…。水野親睦委員長、大変お世話になりました。

〈斎藤 昌雄会員〉

親睦旅行、とっても楽しかったです。特に伊勢神宮での特別参拝は、素晴らしかったです。企画された水野さん、幹事の酒井さん、ありがとう。ご苦労様でした。

〈伊勢志摩・懇親会参加者一同〉

伊勢での懇親会で、残金が出ましたので…。

本日のニコニコボックス	6,000 円	累計	133,869 円
金の箱	2,604 円	累計	3,540 円
ポリオ・プラス	0 円	累計	0 円

◆出席報告 (会員数47名)

出席者数	欠席者数	ビジター	11/8 修正出席率
27 名	20 名	2 名	休会の為次回にて

本日の卓話

卓話⇒『美しい内モンゴルの私』

卓話者⇒ 米山奨学生 ノミンさん



私はノミンと申します。中国内モンゴル自治区の生まれ育ちで、モンゴル人です。ノミンは下の名前、モンゴル語です。ノミンというのはモンゴル語において草原などの緑色を形容する形容詞です。簡単に言えば緑色の中でも深い緑色という意味です。母語はモンゴル語、母国語は中国語です。

私は、内モンゴル自治区の東北部にある赤峰という町から300キロ離れている田舎の両親と妹と四人で生活しています。両親は農畜産業に従事し、妹は大学四年生です。実家が学校から遠いため、私は小学校から大学卒業までずっと寮生活をしていました。

広大な大地が広がり海から遠く離れ、海拔が高い内モンゴルは温帯性のモンスーン気候に属しています。極度に少ない降水量と激しい気温の変化が特徴です。冬は凍るほど寒くてとても長く、時によっては半年を越すほどです。1月が最も寒く、平均気温はマイナス20度～40度です。

私は大学時代に日本語を専攻として勉強し、日本の言葉だけではなく、文化、文学、歴史、経済、伝統など様々な分野から日本について学びました。勉強すればするほど、日本語の難しさを実感し、日本という国の魅力もより感じるようになりました。実際に日本社会で生活して、日本の社会文化を体験しつつ日本語を流暢に喋りたいという願望を持ち、大学卒業後、2015年10月に日本に来ました。

日本の生活において、最初は文化的な違いからたくさんの壁を感じました。言葉の壁を乗り越えるため、来日二ヶ月目からファミリーレストランでキッチンスタッフのアルバイトを始めました。初めて見る食材やメニュー等に困惑しましたが、帰宅してからも勉強を続けたことで、今

では、新人トレーニングまでできます。客数の多い店舗での仕事は予想以上に大変でしたが、何事も途中で諦めることが嫌いな性格ですのでめげずに続けました。キッチン営業の次はフロアスタッフもやり始め、様々なお客様と接し、おもてなしや接客業について勉強しました。二つのポジションを生かし、仲間と効率よく営業出来る方法を考え、積極的に指示を出し、動けるようになりました。コミュニケーションを通して日本語も段々流暢になり、沢山の新しい友達もできました。

今は千葉大学大学院修士2年生であり、日本の近現代文学、特に川端康成の「千羽鶴」と「山の音」という二つの作品について研究をしております。「川端文学と戦後社会-ジェンダー論の観点から」という先行研究の少ないテーマで、自分なりのオリジナル性がある研究結果を出したいです。修士課程を卒業後、日本に就職し、自分を支えて下さった方々に恩返しができる立派な社会人になり、周りの人に温かい存在と思われる素敵な人になれるように頑張りたいです。

米山奨学生になってから毎月奨学金をいただき、アルバイトから解放され、学業に専念できるようになっただけでなく、有意義な活動に参加できるチャンスも増えました。日々勉強になっています。高雄博愛ロータリークラブと千葉南ロータリークラブの交流会に通訳として参加させていただき、充実した2日間でした。

毎月、例会に参加させていただき、たくさんのロータリアンの方々と話ができて、見聞が狭い私にとって、人生経験豊かなロータリアンの方々とお話をすることによって、とても勉強になっております。人間として一度しかない人生をどうやって過ごしたら有意義であるかなど以前は考えたこともない問題についても考えることになりました。社会奉仕と国際親善を目的とするロータリークラブの様々な活動を日本に来る前から日本に留学していた大学の先生から聞いたことがあります。また、周りに米山奨学生の友達がいる、元気よく頑張っている姿を見てロータリーについて、ますます関心を持つようになりました。自分が厳密な選考を通過し、世界各地の様々な分野で活躍している奨学生の一人になれるなど想像もしたことありませんでした。光栄に思いながらさらに頑張らないといけないという責任感も覚えました。

来年の3月に卒業し、日本で就職することに決めました。将来は、社会人としての生活を楽しんで、仕事に尽力するかもしれません。大学に戻って勉強を続け、研究者の道に進むという選択肢を選ぶ可能性もあります。しかし、どのような人生を選ぶかに関わらず、日本という国から、ロータリーという組織から多大な恩恵を受けた自分が、自分という媒体を通し、ロータリーの信念を、この偉大な事業を母国に、世界に伝えたいです。



第2699回例会

日時⇒ 2019年11月29日(金) 点鐘12:30

卓話⇒ 麻雀力(リキ) 小倉 勇一様

【 会報担当：廻 辰一郎 】